令和6年度

可児市の決算

目次

・Ｐ１　予算・決算とは
・Ｐ２　歳入
・Ｐ３・４　歳出
・Ｐ５・６　４つの重点方針
・Ｐ７・８　借入金・基金
・巻末　財政指標

はじめに

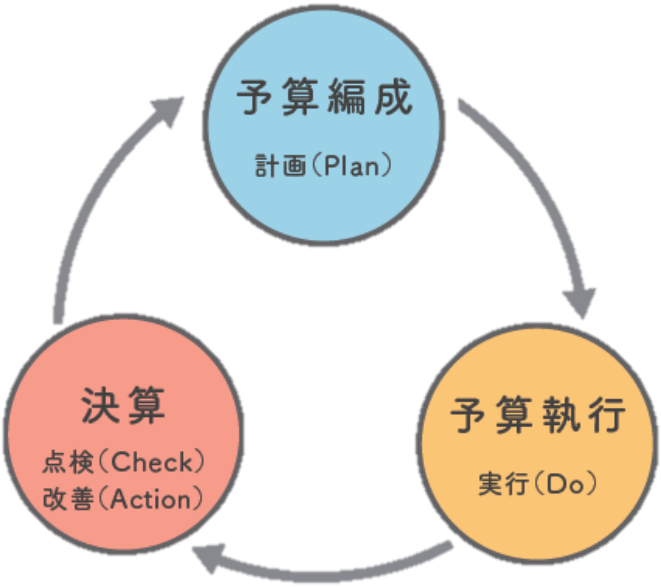
可児市では、市政の情報を市民の皆さんにより広く知っていただけるように取り組んでいます。予算や決算は、聞き慣れない言葉が多く使われますが、市民の皆さんの生活に関わる大切なことなので、しっかりとお伝えできるよう、この資料を作成しています。

・そもそも…
予算や決算って？

まちの“計画書”　　まちの“報告書”

◎予算から決算までの流れ（PDCAサイクル）

予算や決算は、市民の皆さんの代表である議会で審査されます。



●予算編成
可児市にいくらお金が入りそうで、何にいくらお金を使うのか計画を立てます。

●予算執行
計画に沿って、事業を行っていきます。

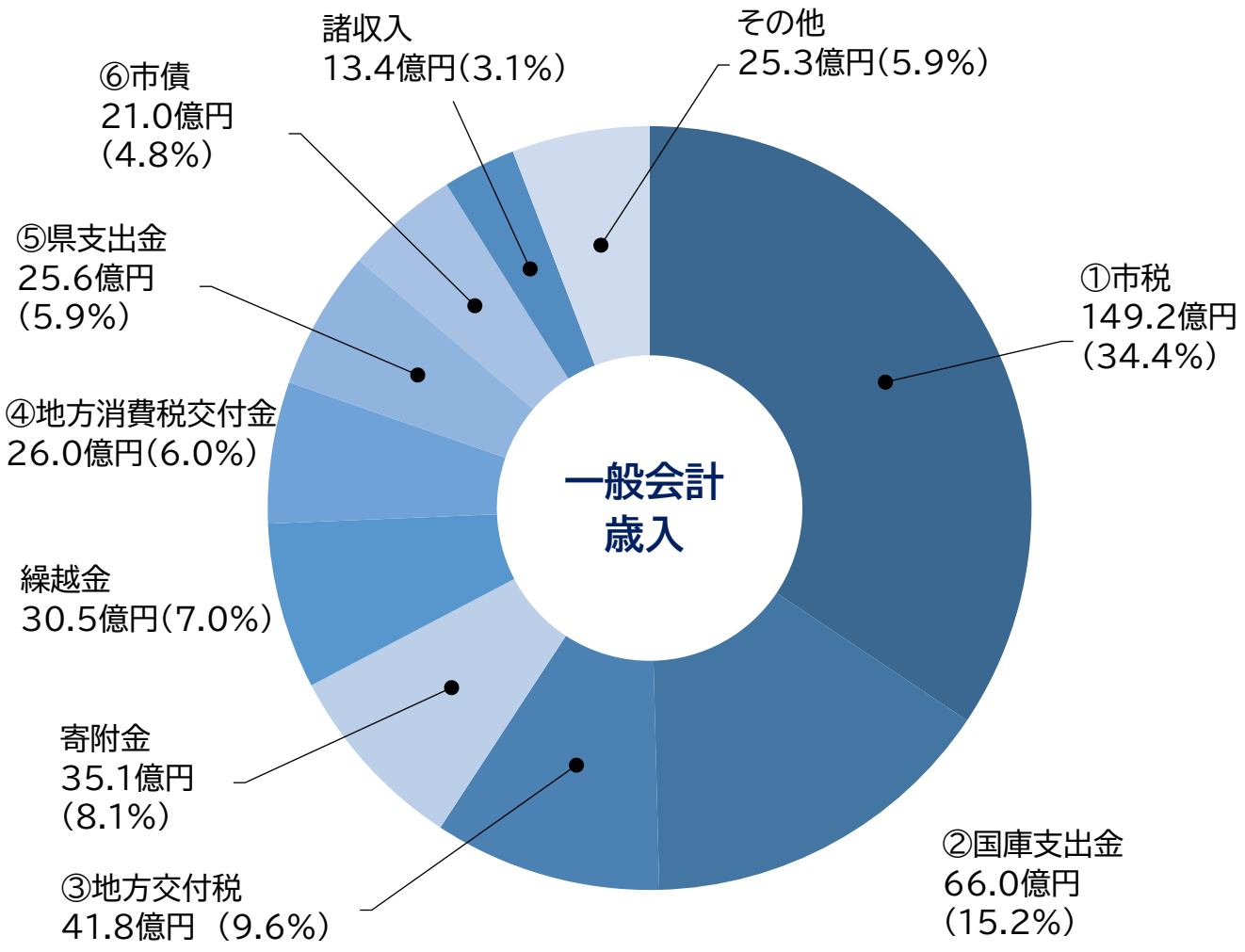
●決算
可児市にいくらお金が入り、どういったことにいくら使ったのかを整理します。それを踏まえ、各事業を点検し、より良い市民サービスを提供できるよう、次年度以降の予算に生かしていきます。

MEMO　新たに予算が必要となったときはどうするの？

災害など不測の事態が起きたときなど、新しく施策や事業を行う必要がある場合、予算（＝計画書）を変更する必要があります。これを補正予算といいます。令和６年度は物価高騰への対応に必要な費用など、計８回の補正予算を組みました。

※補正予算・・・新たに予算を追加したり、変更したりして必要なことに対応すること。

可児市の令和６年度の
１年間の収入は４３３億８，８５７万円です



①市税
可児市で暮らす人が納める個人市民税、市内に事業所を持つ企業等が納める法人市民税、市内に土地や家などを所有する人や企業等が納める固定資産税などです。

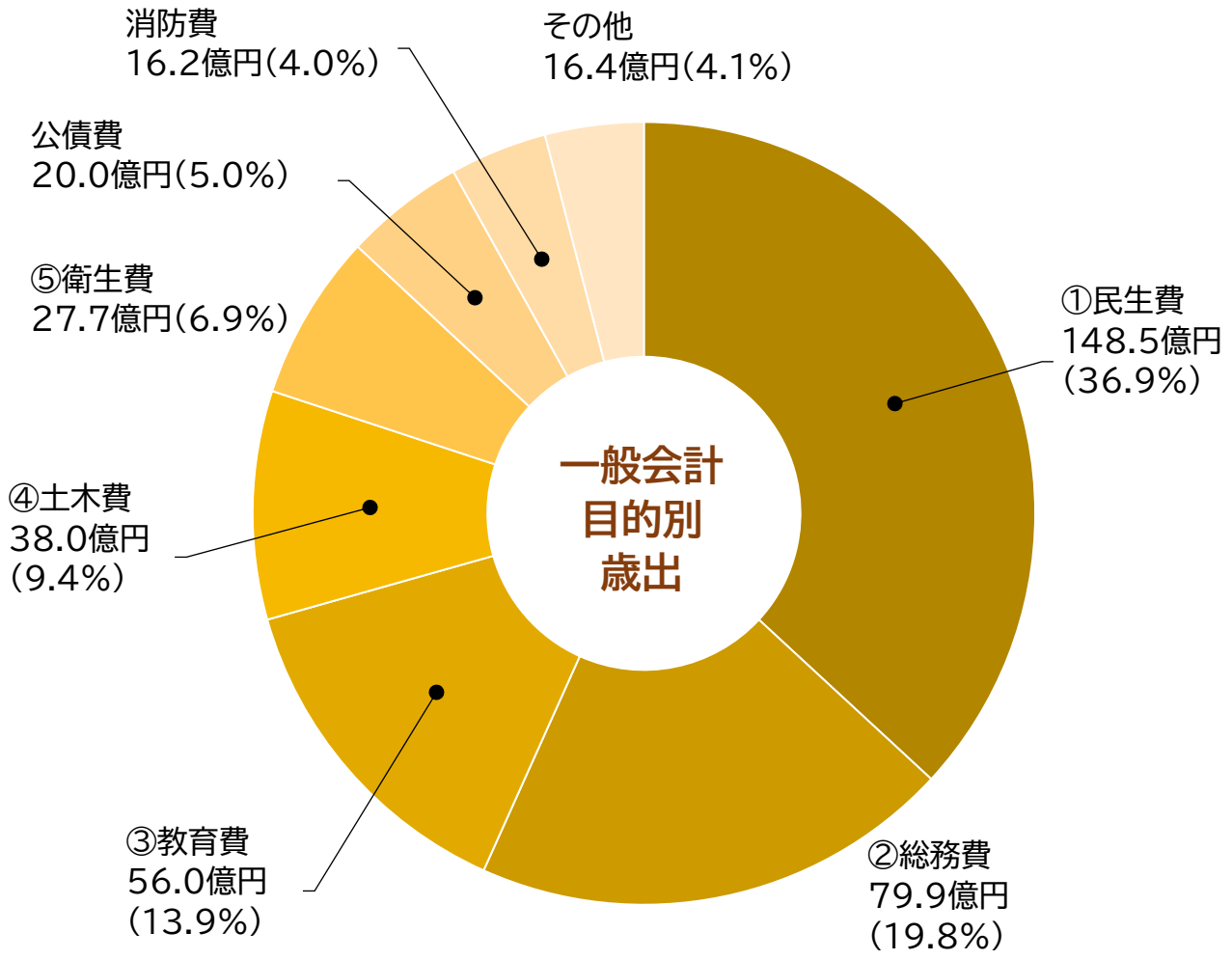
②国庫支出金・⑤県支出金
国（県）が、市の事業を支援してくれたり、負担してくれたりするお金です。

③地方交付税
日本全国どこで暮らしても同じような行政サービスを受けられるように、可児市民の生活に必要となる費用と可児市に入るお金を比べて、その不足分を国が補てんしてくれるものです。

④地方消費税交付金
物を買ったときなどに支払う消費税10%（軽減税率8%）の内、2.2%（1.76%）分は県に納められ、その半分の1.1%（0.88%）分が人口などに基づいて各市に配分されます。このお金は、保育園・幼稚園の無償化などの社会保障費にも一部充てられています。

⑥市債
主に公共施設の整備などを行うために銀行などから借り入れるお金のことです。
（なぜお金を借り入れるのかなど、詳しくは７ページをご覧ください。）

可児市の令和６年度の
１年間の支出は４０２億６，９３２万円です



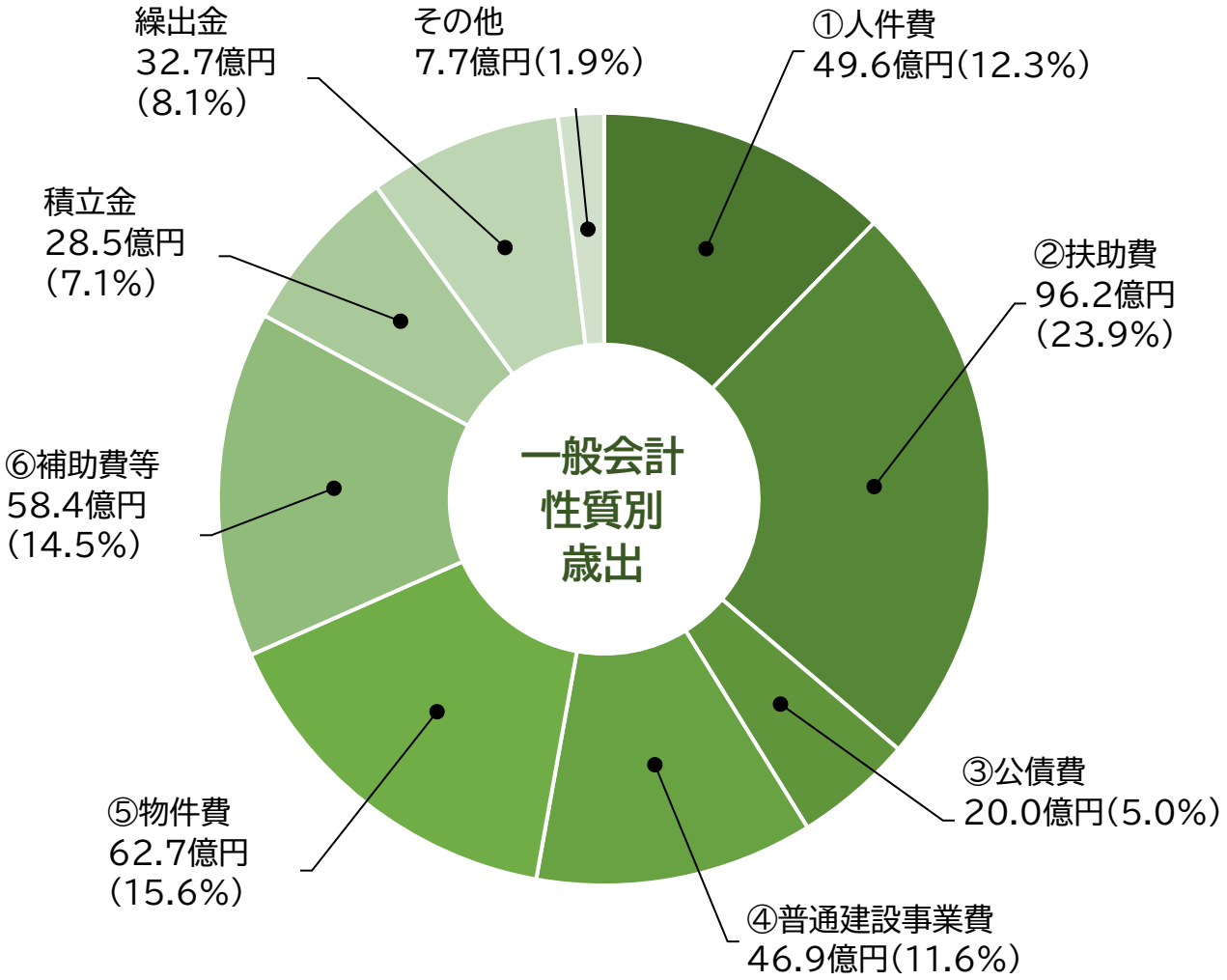
①民生費
子どもから高齢者まで、市民の皆さんが安定した生活を送ることができるような福祉にかかる費用です。

②総務費
さまざまな行政サービスを提供できるよう市政運営全般にかかる、諸々の費用です。財産管理や税の賦課・徴収、選挙、統計などにかかる費用が含まれます。

③教育費
幼稚園や小中学校での教育にかかる費用や、文化創造センター・アーラや体育施設の維持管理・運営をはじめとした、文化やスポーツなどにかかる費用です。

④土木費
道路の舗装や公園の維持管理などインフラ整備にかかる費用です。また、災害に備えて河川などを改修する費用も含まれます。

⑤衛生費
予防接種やごみ処理など、健康や生活環境の維持にかかる費用です。



①人件費
職員の給料や、議員報酬などの費用です。

②扶助費
子どもから高齢者まで、さまざまな援助にかかる費用です。病気などで生活に困っている人を支援する生活保護や障がいのある人が自立した生活を送れるよう各種福祉サービス、また保育園への保育費などがあります。

③公債費
道路や公共施設の建設などを行うために、銀行などから借り入れたお金（市債（元金と利息））を返済する費用です。

④普通建設事業費
道路や公共施設などの整備にかかる費用です。

⑤物件費
各種市民サービスに必要となる業務委託料や物品の購入費などの費用です。

⑥補助費等
ごみ処理を担う可茂衛生施設利用組合や消防・救急を担う可茂消防事務組合の負担金、個人や各種団体に交付する補助金などの費用です。

令和６年度の主な取り組み（重点事業）

可児市が重点的に取り組む４つの方針に基づいて行った主な事業を紹介します。

【高齢者の安気づくり】

高齢者の足を確保

市民の皆さんの移動を支える新たな取り組みとして、公共交通機関の利用が難しい高齢者の移動支援を行っている団体に、送迎用の車両を無償でお貸しする「住民参加型移動支援モデル事業」をスタートしました。地域の皆さんと協力して、移動に困らないまちづくりを進めていきます。

車両は大きく乗り心地もよく、乗り降りも楽です

いつまでもすこやかに

地域で高齢者の皆さんを支える活動を全力でバックアップしています。
地域でサロンや生活支援サービスなどを行う団体への活動支援や、理学療法士などの専門職を派遣する介護予防活動の支援などを行い、地域での支え合い活動がもっと盛り上がるようサポートしていきます。

【子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり】

すべての子どもの居場所づくり

不登校の児童生徒の第３の居場所である「スマイリングルーム」をより気軽に通える施設にするため、坂戸の老人福祉センター「可児川苑」の中に移設しました。
学校に行きづらさを感じているお子さんとその保護者の皆さんの多様な悩みに寄り添い、教育相談を行う場としても活用いただけます。

他にもいろいろな居場所を用意しています

校舎をきれいにしています

令和６年度は、桜ケ丘小学校で古くなった建物や設備を全面的に改修する大きな工事を行い、蘇南中学校と中部中学校ではトイレの洋式化や多目的トイレの整備をしました。その他に学校の照明をLEDに替えるなど、今後も順番に学習環境をよくするための改修を進めていきます。

【地域・経済の元気づくり】

可児市運動公園のリニューアルオープンに向けて

市民スポーツの拠点である可児市運動公園の再整備が進んでいます。令和６年度では、グラウンド面の舗装や防球ネットの設置などを行い、令和８年度の完成に向けて、順調に工事が進んでいます。このグラウンドは、全面に人工芝を張り、野球、サッカー、ホッケーといったスポーツはもちろん、様々なレクリエーションにも利用できる多目的グラウンドとして生まれ変わります。新しいグラウンドで皆さんと一緒にスポーツができる日が来るのが楽しみですね。

地域産業の担い手づくり

将来の地域を支える人材を育てるために、小・中学生とその保護者の皆さんを対象に「かにっこｌａｂｏバスツアー」を開催しました。
市内の事業所を訪ね、職場見学やワークショップを体験しました。子どもたちが地域の産業に触れ、そこで働く人たちの想いや技術を知る、貴重な機会となりました。

実際に触れて、見て、体験することができます

【まちの安全づくり】

災害に強いまちづくり

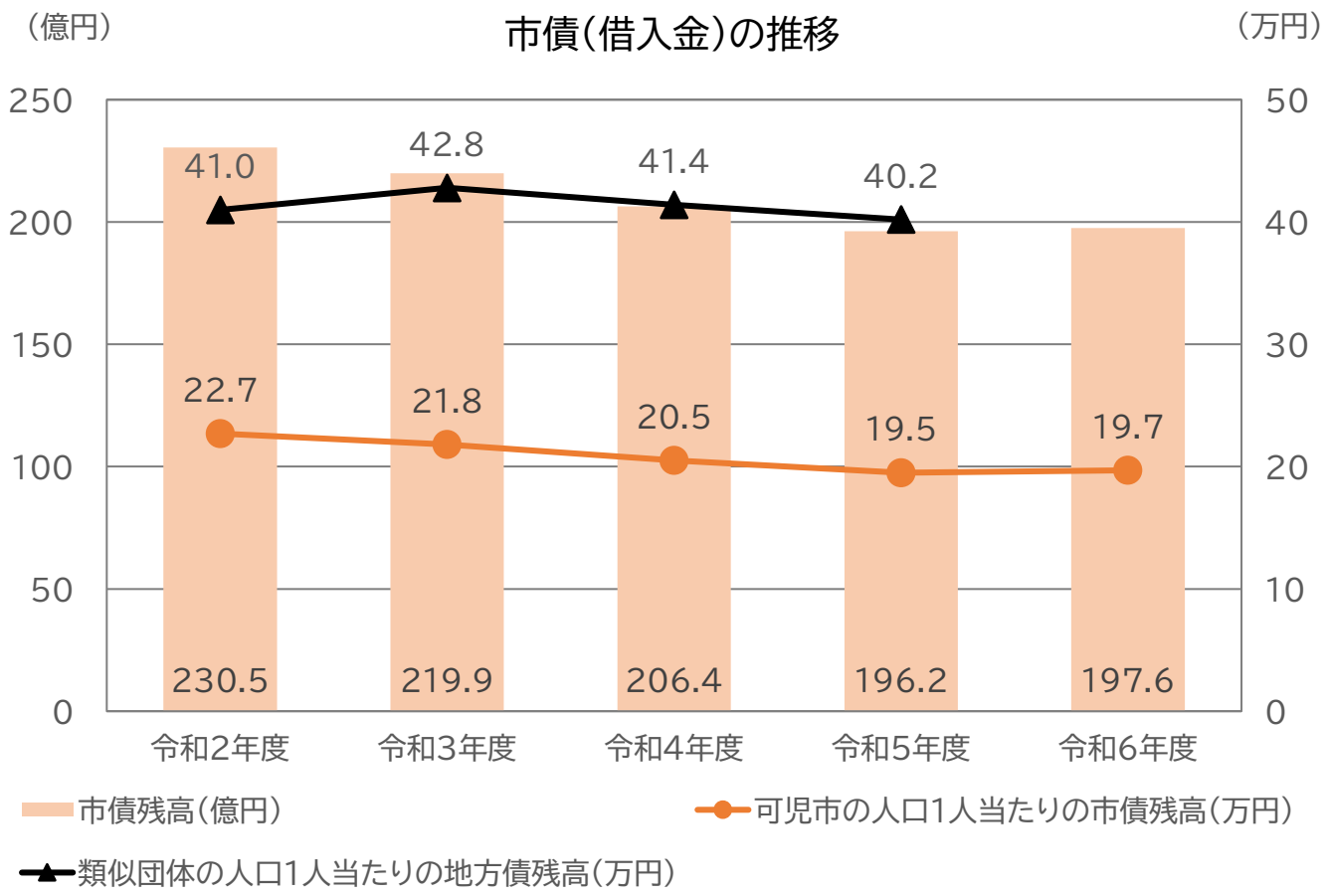
災害時のスムーズな避難行動を支援するため、避難所標識を分かりやすくしました。外国籍の方をはじめ、誰もが避難所だとすぐに認識できるよう、外国語表記を入れたり、絵や図で直感的に理解できるピクトグラムも掲載しています。

みんながわかる、避難時の目印になりました

豪雨に備えて

近年頻発する集中豪雨から市民の皆さんを守るため、可児市では治水対策を強化しています。
令和６年度は室原川の改修を行いました。その他にも浸水被害を未然に防ぎ、被害を軽減するために、河川や水路の改修と維持管理を行っています。

可児市には借金がいくらあるの？



市債は可児市の借金にあたるものです。
市債残高は、子育て健康プラザマーノの建設や文化創造センターアーラの大規模改修などもあり、令和２年度には約230.5億円となりました。これらの大型事業の終了などもあり、令和６年度現在では令和２年度をピークに減少方向に推移しています。類似団体（※）と比較すると、人口１人当たりの市債残高は半分程度となっています。

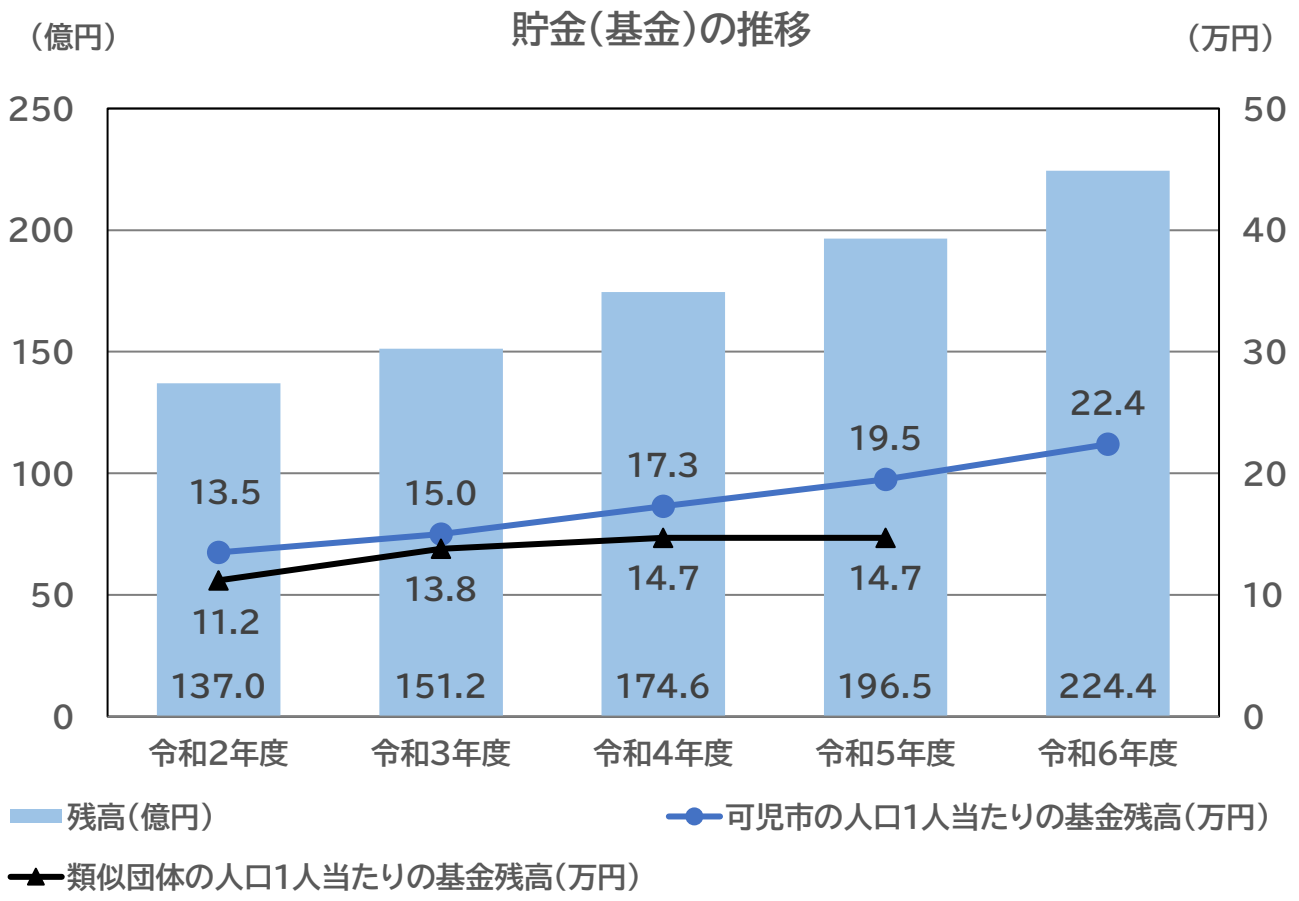
※類似団体…可児市と同じような人口規模や産業構造を有する自治体。（関市、愛知県犬山市など）

自治体が借り入れできるのは、インフラや学校の整備など建設事業に限られています（一部除く）。つまり、収入が少ないからといって、その不足分を補てんするようなかたちでは、お金を借りることはできません。

ＭＥＭＯ 市には、基金(貯金)があるのに、なぜお金を借りるの？

お金を借りることができる事業は上記で説明したように、道路や施設の整備などに限られますが、こうしたものは、将来にわたって多くの人が使うものになります。よって、お金を借りて分割で支払うことで、将来にわたり広い世代で負担していくという目的もあります。

将来に備えて貯金しています



基金は可児市の貯金にあたるものです。
基金残高は、令和２年度末では137.0億円でしたが、令和６年度末には224.4億円となり、増加傾向にあります。類似団体と比較しても、人口１人当たりの基金残高は同程度で推移しています。

※可児市の主な基金
財政調整基金　　：災害対応や予算編成時の財源として使います。
公共施設整備基金：市役所庁舎や市内小学校、中学校、地区センターをはじめとした公共施設の更新費用として使います。

基金は自治体の条例に定めることで、目的ごとにつくることができます。可児市では、上記２つの基金のほかに12の基金を設置しています。

ＭＥＭＯ　基金の役割って？

それぞれの基金には役割があります。例えば、財政調整基金は、災害などの不測の事態や年度間の財源不足に備えるために積み立てています。また、公共施設整備基金は、公共施設の維持や更新に関する計画に基づいて、今後、整備する施設が集中する年度に備えてお金を積み立てています。

自治体の財政状況を知るには
こんな指標があります

指　標	説　明	令和６年度決算 算出結果	令和５年度決算 類似団体平均	令和５年度決算 県内平均
自治体の財政力！ 財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど財源に余裕があり、１を超えると財政的に豊かということで普通交付税が交付されません。	0.80	0.70	0.55
低い数値ほど良好！ 実質公債費比率	借り入れた市債を返済するためのお金が、見込まれる収入に占める割合を示すもので、低い数値ほど良好となります。	△ 1.8%	6.7%	4.6%
将来に負担はある？ 将来負担比率	市債残高をはじめとした負担しないといけないお金について、将来財政を圧迫する可能性がある可能性の度合いを示すものです。	負担見込額 なし	負担見込額 なし	負担見込額 なし

可児市の財政力指数は、県内の市で比較したとき、各務原市・大垣市、岐阜市に次いで４番目に高い数値となっています（令和５年度時点）。これは、他市と比べて市税収入をはじめ自己調達できるお金が多いということを示しています。
自治体の将来的な負担を示す指標となる実質公債費比率や将来負担比率から見ても、可児市の財政状況は良好な状態を維持しています。これまでお金を借り入れてきた市債残高が他の団体と比較しても、少ないことが主な要因となっています。

可児市では、これからも市民の皆さんや企業とも連携して「住みごこち一番・可児　～安心・元気・楽しいまちの推進」を目指していきます。

【作成】可児市市政企画部財政課
☎0574-62-1111